

第3学年2組 体育科学習指導案

指導者 福田 亮

1 単元名 ハンドパスボール（ゴール型ゲーム）

2 運動の特性

(1) 一般的特性

ハンドパスボールは、攻守が入り混じって手でボールを操作し、味方同士でパスを回して攻めたり、協力して相手の攻撃を防いだりして、得点を競うことが楽しい運動である。

(2) 子どもから見た特性 省略

3 仮説と学習の手立て

(1) 市教研体育部会の研究仮説

子が健康な生活を送ったり運動に意欲的に取り組んだりするための様々な学習の手立てを工夫すればよいだろう。

(2) 学習の手立て

〈手立て1〉

運動の特性を十分に検討した上で、子の願いを大切に学習の道すじを工夫すればよいだろう

○学習の道すじの工夫

ゲームに参加できない、苦手であると感じている子も楽しむことができるように、ねらい①では、やさしいルールでゲームを行う。子たちがボールに触れる機会がなるべく増えるように、チームの人数は4人～5人とし、チームのみんなをまとめていけるような児童の内面や人間関係にも考慮し、グループ全員で協力してゲームを楽しめるようにしていきたい。はじめは基本のルールでゲームを行い、ゲームを行うたびに全員がゲームを楽しむための新しいアイデアを付け加えていく。全体でルールを作っていく中で、ボール運動で大切な協力し合う態度や認め合うこと、励まし合うことも合わせて指導していく。ゲームを通して基本的なルールを理解させるとともに、ハンドパスボールの動きに慣れさせ、その特性に触れさせたい。

ねらい②では、ねらい①での経験を生かして、自分のチームの特徴や対戦相手に応じてルールを選択させていく。チーム全員がゲームに参加し、得点を入れて楽しむためにどのようなルールを選べばよいかを考えさせていく。その際、自分たちのチームの特徴がわかるように、ねらい①、ねらい②ともに同じチームでゲームを行う。学習が進むにつれて、勝つための作戦を考えるチームも出てくると思われる。その場合には、その作戦の内容や、子たちの実態によって取り上げて、広めていきたい。

〈基本のルール〉

- ・チームの人数は4～5人
- ・シュートを決めたら1点
- ・ゲームの始まりはじゃんけんで勝ったチーム、得点の後は得点されたチームがセンターラインからボールを味方にパスする
- ・ボールがコートから出たら、出たところから出した方でないチームの人が投げ入れて始める
- ・ドリブルはなし。ボールを持って歩けるのは2歩まで
- ・ボールを持っている相手に触ってはいけない
- ・試合時間は前後半3分ずつ（ハーフタイム1分）

○シュートタイムの設定

多くの子は、ハンドパスボールでシュートを決めることを楽しみにしている。また、ハンドパスボールは得点を競う運動であるので、シュートを打つことができないと、楽しむことができないだろう。しかし、ねらったところにボールを投げられる子は少なく、キャッチできる子も少ない。そこでまず、ハンドパスボールを楽しむための最低限の技能を身に付けさせるために、毎時間はじめにチーム内でのシュートタイムを設定する。いろいろな位置からシュートを打ったり、パスを受けたらすぐシュートを打ったりすることで、実際のゲームでも積極的にシュートをねらい、ゲームを楽しめるようになるだろう。

また、シュートを決めるためには、ねらったところに投げる技能だけでなく、空いているところに動いてパスをもらう動きも必要になってくる。技能の向上に合わせて、止まったところからシュート、動いてもらってシュート、ディフェンスがいるところで動いてパスをもらってシュート、というように、より実戦に近づけたシュートタイムへと変化させていく。めあて②では経験したシュートタイムの中からチームごとに選んで行うようにする。

〈シュートタイムの移り変わり〉

- ①その場でパスをもらってシュート（キーパーなし）
- ②その場でパスをもらってシュート（キーパーあり）
- ③動いてパスをもらってシュート
- ④ディフェンスがいるところで動いてパスをもらってシュート

〈手立て2〉

一人一人の能力に応じた学習を進めるための手立てを工夫すればよいだろう。

○用具の選定

実態調査では、ボールが顔や頭に当たることを心配している子やボールを投げるのが得意ではないと感じている子が多くいた。そこで、本単元ではボールをソフトドッジボール、ライトドッジボール、キャンディボールの3種類から選べるようにする。つかみやすく、やわらかいものを用意し、どの子も安心してゲームを楽しめるようにしたい。ボールを選ぶ際には、チームのどの子も楽しめるボールを選ぶように声をかけていく。また、シュートやパス、キャッチがしやすいように、大きさは子どもにとってもつかみやすい0号球とする。

○めあてをもたせるための工夫

めあて学習の経験がほとんどないので、実際のところ自分に合っためあてを立てるのは難しいだろう。特に技能面に関するめあてに関しては、「シュートを決めたい」などの漠然としためあてをたてる子が多いことが考えられる。そこで、具体的なめあての例を掲示し、漠然としためあてを立てた子どもにより具体的なめあてにするよう声をかけていく。

(例)「シュートを決めたい」というめあてに対しては「すみを狙って打つ」「スピードを速くする」「ジャンプして打つ」など

4 学習のねらいと道すじ

(1) 学習のねらい

- 友達と協力し、ルールやマナーを守って楽しく学習を進めることができる。
- 楽しいゲームの行い方を知り、自分に合っためあてを立てたり、チームに合ったルールを選んだりしながら学習を進めることができる。
- ねらったところにパスやシュートをしたり、空いているところに移動してボールを受けたりすることができる。

(2) 学習の道すじ (本時6 / 8)

	1	2	3	4	5	6(本時)	7	8
0 ↓ 4 5	オリエンテーション ・学習の進め方 ・ルールやマナー ・学習カードについて ・場の準備の仕方 ・試しのゲーム	シュートタイム						
		ねらい① やさしいルールでゲームを楽しむ。			ねらい② 自分のチームや対戦相手に合ったルールを選んでゲームを楽しむ。			
関・意・態	○	○				○		
思・判			○			○		○
技能				○			○	○

5 評価規準 (おおむね満足できる状況)

関心・意欲・態度	思考・判断	技能
①ルールやマナーを守り、みんなでゲームを楽しんでいる。 ②友達と声を掛け合い、励まし合いながら協力して練習やゲームをしている。 ③安全に気をつけて、場の準備や片付けをしている。	①自分に合っためあてを立てている。 ②楽しいゲームの行い方を知り、自分のチームに合ったルールを選んでいる。	①ねらったところにパスやシュートをすることができる。 ②パスをもらいやすい場所に動くことができる。 ③ボールをキャッチすることができる。

6 学習活動と支援

はじめ	【オリエンテーション】 ○学習のねらいや道すじを理解し、学習の進め方の見通しをもつ。 ○ハンドパスボールを楽しむためのルールやマナーを確認する。 ○学習カードの使い方やめあての立て方を確認する。 ○用具の使い方や安全な場の準備・片付けの仕方を確認する。 ○試しのゲームをする。 ◇安全に気をつけて、場の準備や片付けをしようとする。【関心・意欲・態度③】	
	学習内容と活動	教師の支援・評価 (◇評価)
なか①	1 学習の場作りをして、準備運動をする。 ・ストレッチ運動	○あらかじめ用具の分担をしておく。 ○ハンドパスボールに使う肩や手首足首などを重点的にストレッチするよう声をかける。
	2 シュートタイムをチームで行う。 3 めあての確認をする。	○積極的にシュートを打つ姿勢を身に付けるために、ボールを持ったらまずゴールを見るように助言する。
	ねらい① やさしいルールでゲームを楽しむ。	○ゲームを行うたびに全員がゲームを楽しむための新しいアイデアを付け加えていく。

【基本のルール】

〈基本のルール〉

- ・チームの人数は4～5人
- ・ゲームは4対4（キーパーあり）
- ・シュートを決めたら1点
- ・ゲームの始まりはじゃんけんで勝ったチーム、得点の後は得点されたチームがセンターラインからボールを味方にパスする
- ・ボールがコートから出たら、出たところから出した方でないチームの人が投げ入れて始める
- ・ドリブルはなし。ボールを持って歩けるのは2歩まで
- ・ボールを持っている相手に触ってはいけない
- ・試合時間は前後半3分ずつ（ハーフタイム1分）

【予想されるめあて】

- Aさん なかよくやる
- Bさん 3点以上決めたい
- Cさん たくさん動きたい

4 1回目のゲームをする。

- 前半・・・3分
- ハーフタイム・・・1分
- 後半・・・3分

5 チーム内で振り返りの話し合いをする。

- 全員がシュートできたか
- よかったところ
- 直したほうが良いところ

6 2回目のゲームと振り返りをする。

7 3回目のゲームと振り返りをする。

【例】

- ・初ゴール5点
- ・女子3点
- ・全員得点ボーナス20点

○めあてを立てることが難しいと感じる子には、どうしたら楽しくできるかを考えさせ、めあてへとつなげていく。

○漠然としためあてを立てる子のために、具体的なめあての例を掲示しておく。

◇自分に合っためあてを立てている。

【思考・判断①】

○パスをもらいやすいところに動いている子を称賛し、まわりの子たちにも広めていく。

○顔や頭に当たっても痛くないように、やわらかいボールを用意しておき、チームごとに選べるようにする。

○前時のゲームを振り返り、みんなが楽しめるように全体でルールを考えていく。

○パスがなかなかもらえない子には、パスがもらえる場所に動くよう助言する。

◇友達と声を掛け合い、励まし合いながら協力して練習やゲームをしようとする。

【関心・意欲・態度②】

○自分自身の振り返りだけでなく、友達へのアドバイスなどもするように声をかける。

○話し合いができていないグループに入り、プレーについてのアドバイスをする。

○1回目のゲームの反省を生かすよう声をかける。

◇ボールをキャッチすることができる。

【技能③】

○自分のめあてについて振り返り、次時のめあてを立てるよう助言する。

	<p>8 学習カードを記入する。</p> <p>9 学習を振り返り、全体で学習のまとめをする。</p> <p>○めあては達成できたか</p> <p>○今日のルールはどうだったか</p> <p>○チームで話し合ったこと</p> <p>10 整理運動をして後片付けをする。</p>	<p>○ルールやコート、ボールについて話し合い、どの子も楽しめるようなルールを作っていく。</p> <p>○今日のゲームを振り返らせ、よい動きをしていたチームを取り上げて紹介する。</p> <p>○分担にしたがって安全に気をつけて後片付けをするように声をかける。</p>
<p>なか②</p>	<p>1 学習の場作りをして、準備運動をする。</p> <p>・ストレッチ運動</p> <p>2 シュートタイムをチームで行う。</p> <p>3 めあての確認をする。</p> <div data-bbox="392 925 1286 1008" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ねらい② 自分のチームや対戦相手に合ったルールを選んでゲームを楽しむ。</p> </div> <p>4 チームごとにルールを選択する。</p> <p>【予想されるチームの選択例】</p> <p>「ぼくのチームは女子が強いから女子3点ルールにしよう」</p> <p>「ぼくのチームはみんなシュートを決められるから全員得点ボーナス制にしよう」</p> <p>5 1回目のゲームをする。</p> <p>前半・・・・・・3分</p> <p>ハーフタイム・・・1分</p> <p>後半・・・・・・3分</p> <p>6 チーム内で振り返りの話し合いをして、学習カードを記入する</p> <p>○選択したルールはどうだったか</p> <p>○よかったところ</p> <p>○直したほうがよいところ</p> <p>7 2回目のゲームと振り返りをする。</p>	<p>○あらかじめ用具の分担をしておく。</p> <p>○ハンドパスボールに使う肩や手首足首などを重点的にストレッチするよう声をかける。</p> <p>○より実戦に近いシュートタイムの取り組み方法を紹介し、チームで選ばせていく。</p> <p>○漠然としためあてを立てる子のために、具体的なめあての例を掲示しておく。</p> <p>○自分たちのチームが楽しめるようなルールを選ぶよう助言する。</p> <p>◇楽しいゲームの行い方を知り、自分のチームに合ったルールを選んでいる。【思考・判断②】</p> <p>○パスをもらいやすいところに動いている子を称賛し、まわりの子に紹介していく。</p> <p>○選んだルールを生かすよう声をかける。</p> <p>◇ルールやマナーを守り、みんなでゲームを楽しもうとする。【関心・意欲・態度①】</p> <p>○自分自身の振り返りだけでなく、友達へのアドバイスなどもするように声をかける。</p> <p>○チームで選んだルールでみんなが楽しめたかどうかを話し合わせる。</p> <p>○話し合いができていないグループに積極的に入り、プレーを想起させて反省点を引き出していく。</p> <p>◇パスをもらいやすい場所に動くことができる。【技能②】</p>

	<p>8 3回目のゲームと振り返りをする。</p> <p>1 0 全体で学習のまとめをする。 ○学習カードを記入する。 ○個人のためあての反省をする。 ○選択したルールの効果を話し合う。</p> <p>1 1 整理運動をして後片付けをする。</p>	<p>◇ねらったところにパスやシュートをする ことができる。【技能①】 ○よい動きを称賛し、全体に紹介する。</p> <p>○自分のためあてが達成できたかどうかを振 り返らせる。</p> <p>○分担にしたがって安全に気を付けて後片 付けをするように声をかける。 ◇安全に気を付けて、場の準備や片づけをし ようとする。【関心・意欲・態度③】</p>
<p>ま と め</p>	<p>〈学習を振り返る〉</p> <p>○友達と協力し、ルールやマナーを守って楽しく学習を進めることができたか。</p> <p>○楽しいゲームの行い方を知り、自分に合ったためあてを立てたり、自分のチームの特徴や対 戦相手に応じたルールを考えたりしながら学習を進めることができたか。</p> <p>○ねらったところにパスやシュートをしたり、パスをもらいやすい場所に移動してボールを 受けたりすることができたか。</p>	